

ゆいちゃんはシリタガリノ! なんでお坊さんの頭はつるつる? 星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第39号

発行 浄土宗児童教化連盟

発行人 辻本 良明
〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内
TEL 0956-33-3334
FAX 0956-33-3338

『漢字・かんじ・カンジ』

シッタカおじやんの

胡のつく言葉を知っていますか?

やあ、みんな元気かな。今日はみなさんが習っていない漢字について紹介します。

それは「胡」という字です。胡は昔、漢民族が中国周辺の北部や西部の外国の異民族を見下ろして呼んだ言葉です。またこれら異民族から伝わってきたものを示す言葉でもあります。その中には日本にも伝わっているものもあります。

胡瓜：野菜のキュウリです。キュウリはインド原産で「胡」がつくのは、キュウリがシルクロードをわたって来たことを意味します。

胡麻：ゴマ。原産はインド、エジプト、アフリカといわれています。ゴマは中国の西方から持ち帰った、麻の実に似たものの意味です。

胡椒：からいコシヨウのことです。コシヨウはインド原産で、やはり中国の西方から伝わった山椒のような香辛料ということです。



胡桃：クルミと読みます。アーモンドやココナッツと同じナッツの一種です。桃の形に似ています。

胡坐：あぐらと読みます。西域から中国に伝わった座り方です。昔の日本ではあぐらが男性の正式な座り方でした。みんなは正座とあぐらとではどっちがいい？

胡蜂：スズメバチと読みます。毒を持っていて刺されたら大変なことになります。死亡にいたる場合もあります。これも西方からやってきたと考えられたのでしよう。

少し違いますが、日本でも西洋からやってきたものに「洋」の字をつけて言葉を作りました。

洋楽：西洋音楽のことです。
洋書：西洋の本です。
洋服：西洋風の服です。
洋食：西洋風の料理です。
洋菓子：西洋風のお菓子です。
洋画：西洋の映画です。



「お寺てらにある楽器がっき」

4

鉦はちと銅鑼どら

鉦はちは鑊にようはち鉦はちともいい、お葬式そごうしきの時ときやお寺てらの法要ほうようの時ときに使うつかものです。よく見みたら、楽器がっきのシンバルシンバルにととても似にていますね。

この鉦はちもシンバルシンバルのように、鳴ならすと「バシヤーン！」という大おおきな音おとが出でます。シンバルシンバルはこの鉦はちが起源きげんだともいわれています。近ちかくで聞きいたらきつとびつくりすると思おもいます。中国大陸ちゆうごくたいりくから日本にほんにやつてきました。

銅鑼どらもやはりお葬式そごうしきの時ときやお寺てらの法要ほうようの時ときに使つかいます。お寺てら以外がいにもお囃子はやしや船ふねの出でる合図あいず、また中華料ちゆうかりょう理店りてんでも見みることができます。打うつと「ボウーン」と音おとが鳴なります。これこれも日本にほんへは中国大陸ちゆうごくたいりくから伝つたわりました。



鉦はち

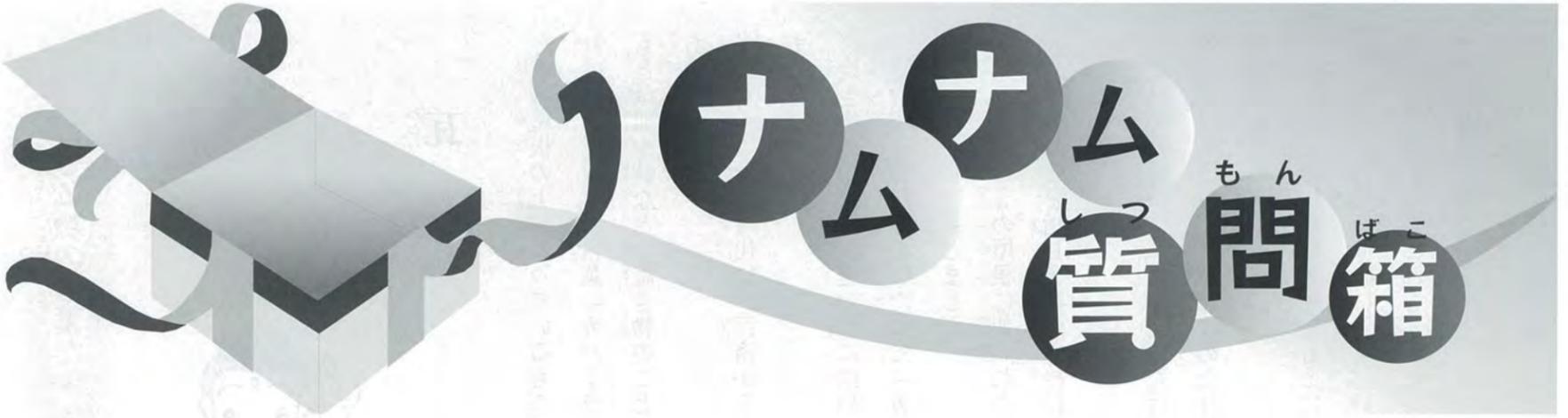
なお、どらどら焼きやという、あんこの入はいったお菓子かしは、楽器がっきの銅鑼どらに似にた形かたちであるところから名なづけられたといわれています。一説いっせつには次つぎのようなお話はなしがあります。昔むかし、弁慶べんけいが戦たたかいで負傷ふしょうした時とき、民家みんかで手当てあてをしてもらもらいました。そのお礼れいにと、弁慶べんけいは小麦粉こむぎこを水みずで溶と

かして伸のばしたものを、熱あつくした楽器がっきの銅鑼どらに引ひいて丸まるく焼やいた生地きじにあんこを入いれて作つくってご馳走ちそうしたことが、どら焼きやと呼ばれるようになった理り由ゆというもものです。

さて、どちらどちらが本ほん当とうなのでしょう。



銅鑼どら



質問

ののさまとはだれのことをいうのですか。

(小四 女子)

答え

ののさまはお釈迦さま
 まや阿弥陀さまなどの
 仏さまのことで、小さな子供が
 使う言葉です。ある決まった仏
 さまを指しているわけではあり
 ません。「のんのさま」とか「の
 んのんさま」ともいいます。ま
 た仏さまを拝むことを「のんの
 んする」というところもあるよ
 うです。

「のの」という言葉は、昔は
 仏さまだけでなく、神さまやお
 日さま、お月さまにも使ってい



ました。

「のの」は古い言葉「祈む」
 が変化したものといわれていま
 す。「祈む」とは頭を下げて神
 さまや仏さまに祈ること。
 その「のむ」を小さい子ども
 に教える時に、いつの間にか「の
 んの」「のんのん」「のの」「の
 のさま」となったのではないで
 しょうか。

質問

南無阿弥陀仏の「南無」はどうして南が無いと書くのですか。

(中一 男子)

答え

そうですね、「南が
 無い」とは不思議です
 ね。実は「ナムアマダブツ」は
 もともとはインドの言葉なので
 す。インドの古い言葉「ナマス」
 を漢字に当てたのが「南無」で
 す。ですから「南が無い」とい
 う意味ではないのです。
 「ナマス」には「敬礼する」
 「敬意を表わす」の意味があり、
 「南無阿弥陀仏」は「阿弥陀さ
 まにおまかせします」という意
 味です。「阿弥陀仏」も古いイ



インドの言葉で「アマターバ・ア
 ミターユス ブツダ」を漢字に
 当てているのです。
 初めの質問の答えの中に出て
 くる「祈む」は、「祈む」とい
 う言い方もあるそうです。「祈
 む」は神さまや仏さまに祈るこ
 とですから、「ナマス＝南無」
 の意味に通じるところがありま
 すね。偶然ですけど…。

浄土宗こどもタイムズ

これも仏教の言葉だよ!



瓦

家の屋根の上に載っているもの、かわらのことです。これは古いインドの言葉「カパーラ」から来ています。もともとは皿や鉢などの焼き物のことです。また骸骨の意味もあります。

日本へは飛鳥時代に、百濟から仏教とともに伝わってきました。

焼き物は粘土を一定の形に固めて焼いて作ります。屋根の瓦も同じ方法で焼いたので「カパーラ」の音を漢字に当てて「かわら」としました。

瓦は主にお寺の屋根に使われたので、瓦ぶきという名前はお寺のことを指しました。後になって民家にも普及してきます。

瓦はただ屋根に載せるためだけでなく、昔は瓦にお経や願いごとを書いて地中にうめたりしたこともありました。これを瓦経といいます。

また江戸時代には、瓦のもとになる粘土に文字や絵を刻んで焼いたものを原版にして、いろいろな記事を刷った新聞のようなもの（これを瓦版といいます。読売ともいいます）にも使われています。

ちがいがし

みんなであら考えよう



今回のちがいがしは、広場で遊ぶペットを連れた人たちが、右の写真と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきりは7月31日です。

送り先

〒857-0851

佐世保市稲荷町19番10号

善隣寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334

FAX 0956-333-3338

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事お待ちしています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品もお待ちしています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334 FAX 0956-333-3338

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぶくぶく編集室



皆さんは五七五って聞いたことありませんか。俳句や川柳の標語に使われる十七音のことです。俳句は世界でもっとも短い定型詩といわれます。

「古池や蛙飛び込む水の音」
：松尾芭蕉の俳句です。「ふるいけや かわずとびこむ みずのおと」というふうには、「五・七・五」の音に分けられます。

この五七五は日本語にとってもよい言葉のリズムとなっています。

また交通標語に「飛び出すな車は急に止まれない」というものがあります。五七五だとリズムよく覚えられますね。

現在の日本の憲法にも五七五で書かれた条文があります。憲法第二十三条には、

「学問の自由はこれを保障する」とあります。もっとも短い条文です。

世界の多くの国で学問の自由、つまり教育の自由がありますが、わざわざ憲法に書かれてあるのは日本だけのようです。

憲法という難しいイメージがありますが、この条文は短くて、しかも五七五で覚えやすいですね。学問、教育の大切さを知ってもらいたいために、リズムの良い文にしたのでしょうか。